

来月2日開院前に内覧会

豊川整形外科 院長「骨粗しょう症治療にも注力」
リハビリクリニック

「健康寿命」につながる治療をめざす寺澤貴志院長



豊川市の医療法人鳳紀の新クリニック、豊川整形外科リハビリクリニック（豊川市下長山町）は9月2日の開院を前に27日、内覧会を開いた。地域住民を中心に多くの人が訪れ、院内を見学した。中でも高齢の女性の姿が多く見られ、スタッフの説明を熱心に聞く姿があった。

豊川整形外科リハビリクリニックは、鉄骨造り2階建て。延べ床面積は、院内には3つの診察室と、明るくゆったりとした処置室、最新の骨密度測定装置を備えた検査室、相談室を兼ねた多目的室、一部吹き抜けの開放的なリハビリテーション室が設けられている。



9月2日開院の豊川整形外科リハビリクリニック（豊川市下長山町で）

院長には、医療法人鳳紀会可知病院の整形外科部長だった寺澤貴志医師（56）が就任した。

寺澤院長は、「健康寿命を延ばす、高齢者の骨折の原因となる骨粗しょう症に対する治療も、しっかりと進めたい」と述べた。リハビリテーションにおいては「患者さん自身が積極的に参加していただけるように努めたい」とし、「地域の人の健康と安心を届ける」と語った。

CTやMRI検査等については本院の可知病院と連携していく。（吉富恵子）



最新の骨密度測定装置を設置（同）